

実施計画で イラク派兵命令へ!

自衛隊を戦場に送るな

政府は、自衛隊のイラク派兵計画を具体化した「実施要項」を決定しました。しかし、イラク国民が望んでいるのは、武装した自衛隊の派兵ではありません。国連中心の復興支援への転換、主権の回復と占領軍の撤退こそ必要です。

人道支援に役立たない派兵

中東で人道支援をすすめる日本のNGOは「日の丸」をはずしました。自衛隊が米軍を支援するため、日本のNGOも誤解されて危険なためです。日本政府のイラク戦争支持や自衛隊派兵表明は、すでに人道支援の障害になっているのです。NGOの代表は「武装した自衛隊の派兵は歓迎されていません」と話しています。

大義なき戦争と占領がテロを拡散させている

小泉首相は「テロの脅しに屈するな」といって、自衛隊の派兵を強行しようとしています。とんでもありません。無法な戦争と軍事占領こそ、テロ勢力に絶好の口実を与えているのです。無法な戦争とテロの悪循環を断ち切らなければなりません。いま求められているのは、国連中心の復興支援とイラク国民の主権の回復です。



国民多数が反対しているのに
派兵するのでしょうか

自衛隊イラク派兵に反対が72.6%(フジテレビ調査)。日弁連会長や日本ペンクラブも反対を表明しています。国民が反対しているのに、「軍隊」を海外に派兵する - 平和憲法を持つ国でこんな無茶苦茶なことは、許せません。

イラク民主化指導者も 自衛隊派兵に反対”

来日し、小泉首相とも会談したイラク民主化指導者リカービ氏は12月、会見で「あらゆる外国軍隊の派遣、駐留、占領は受け入れられない。自衛隊派兵にも反対する」と語りました。

自衛隊派兵は占領軍支援のため
イラクの復興に役立たない

--	--